

第3回県民モニターアンケート「男女共同参画社会と芸術文化に関する意識調査」の調査結果

第3回県民モニターアンケート調査の結果をとりまとめました。アンケート結果は、今後の男女共同参画社会と芸術文化に関する施策に活用します。

1 調査概要

- (1) 調査テーマ：男女共同参画社会と芸術文化に関する意識調査
 (2) 調査対象者：県民モニター2,395人
 (3) 調査期間：令和6年10月4日（金）
 ～10月14日（月・祝）[11日間]
 (4) 調査方法：web上のアンケートフォーム
 に入力
 (5) 回答者数：1,603人（回答率66.9%）

区分		対象者	回答者	回答率
総数		2,395	1,603	66.9%
性別	男性	1,046	743	71.0%
	女性	1,342	858	63.9%
	不明	7	2	28.6%
年代別	10～20代	85	36	42.4%
	30代	209	102	48.8%
	40代	391	240	61.4%
	50代	559	393	70.3%
	60代	554	418	75.5%
	70代以上	597	414	69.3%

2 調査結果の概要

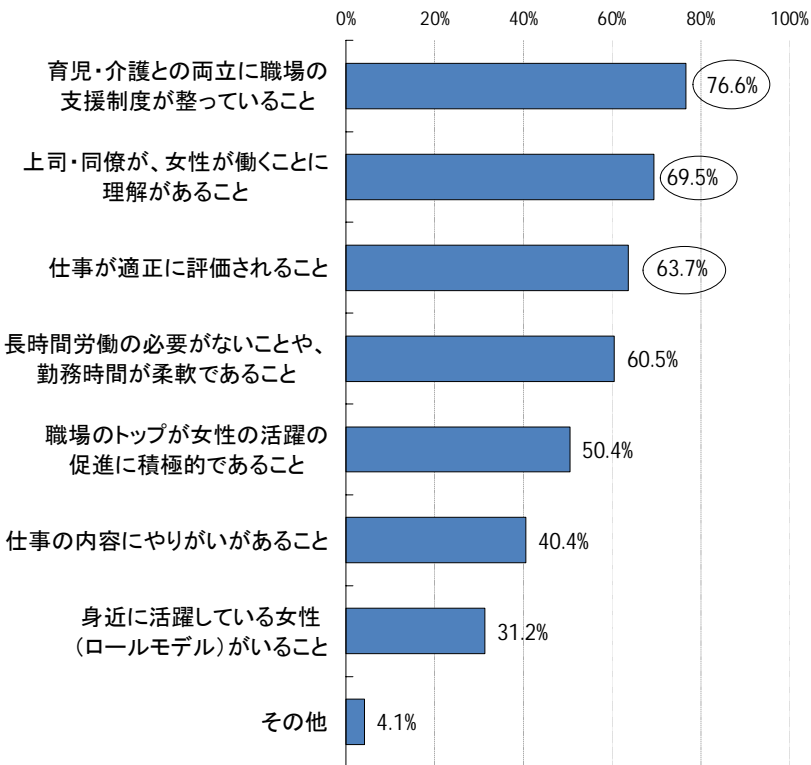
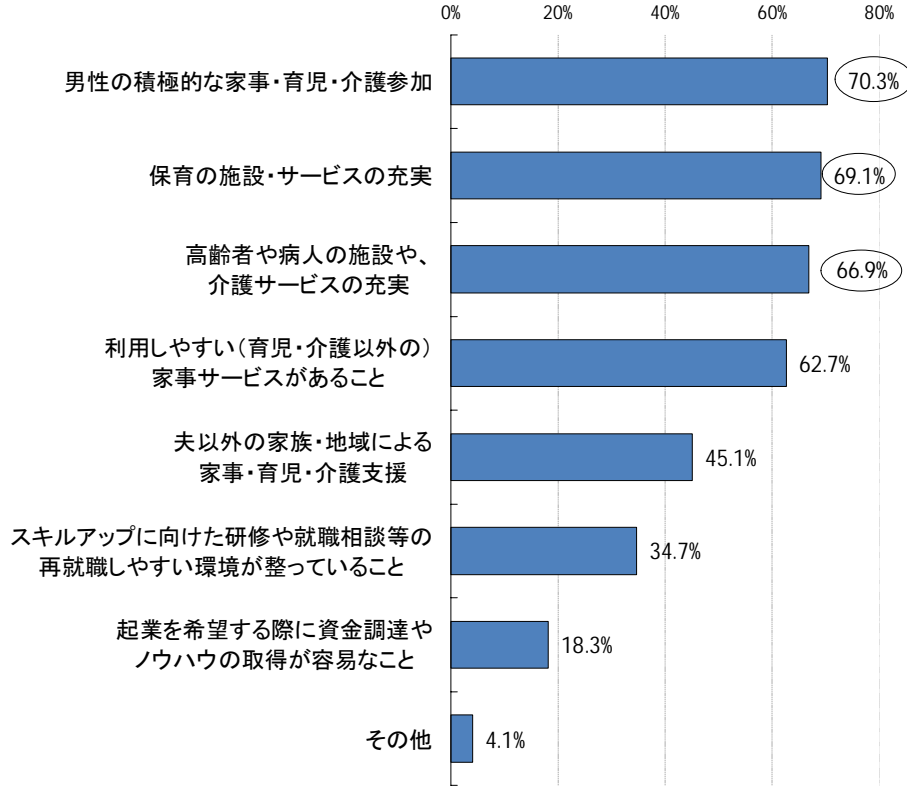
項目	アンケート結果						
男女共同参画社会に関する意識について	『家庭生活』『地域活動』『職場』『法律・制度』『社会通念・習慣・しきたり等』の分野では「どちらかといえば男性が優遇（優位）」が最も多くなっている。 『政治』の分野では「男性が非常に優遇（優位）」が最も多く、『学校教育』では「平等になっている」が最も多くなっている。 また、『社会全体』では「どちらかといえば男性が優遇（優位）」が最も多く、次いで「男性が非常に優遇（優位）」の順となっている。						
01 あなたは、次の(1)から(7)の分野、または社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものをお答えください。（1つ選択）	(%)						
	優男性が優位に	えどち ば男 ら 性 か と 優 い	優女性 が 優 位 に	えどち ば女 ら 性 か と 優 い	い平 等 に な っ て	わ か ら な い	
1 家庭生活	12.9	46.0	6.0	14.6	16.2	4.3	
2 地域活動	22.8	50.6	1.4	5.4	12.4	7.4	
3 学校教育	5.4	33.6	1.4	4.7	38.6	16.4	
4 職場	24.9	50.9	0.7	3.1	12.3	8.0	
5 法律・制度	13.2	38.7	1.2	5.4	28.4	13.1	
6 政治	41.2	39.6	0.4	1.6	10.5	6.6	
7 社会通念・習慣・しきたり等	32.8	52.5	0.6	2.6	7.3	4.2	
8 社会全体	17.7	63.4	0.9	3.1	8.4	6.6	

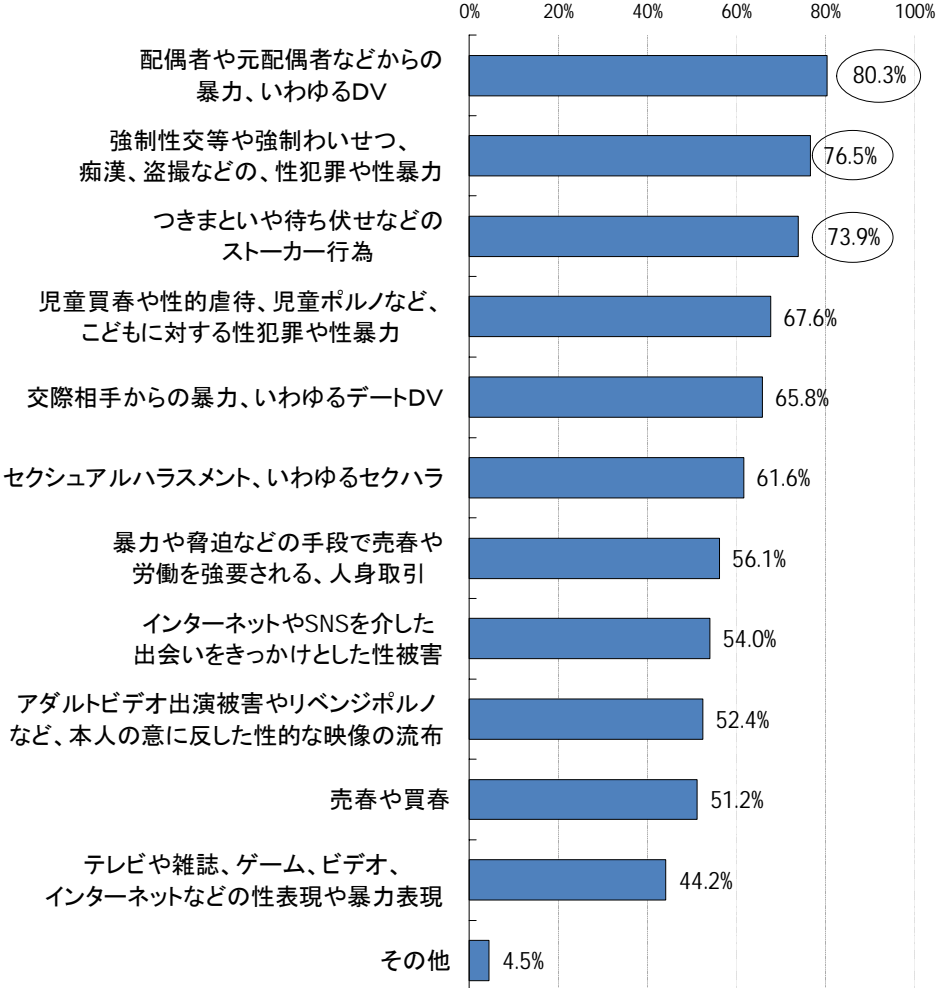
項目	アンケート結果														
Q1-1 家庭生活で (家族の方針決定、家事・育児の役割分担など)	<div data-bbox="427 203 568 248" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">家庭生活</div> <table border="1" data-bbox="555 230 1469 524"> <thead> <tr> <th>優遇/優位の状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性が非常に優遇(優位)</td> <td>12.9%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば男性が優遇(優位)</td> <td>46.0%</td> </tr> <tr> <td>女性が非常に優遇(優位)</td> <td>6.0%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば女性が優遇(優位)</td> <td>14.6%</td> </tr> <tr> <td>平等になっている</td> <td>16.2%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>4.3%</td> </tr> </tbody> </table>	優遇/優位の状況	割合	男性が非常に優遇(優位)	12.9%	どちらかといえば男性が優遇(優位)	46.0%	女性が非常に優遇(優位)	6.0%	どちらかといえば女性が優遇(優位)	14.6%	平等になっている	16.2%	わからない	4.3%
優遇/優位の状況	割合														
男性が非常に優遇(優位)	12.9%														
どちらかといえば男性が優遇(優位)	46.0%														
女性が非常に優遇(優位)	6.0%														
どちらかといえば女性が優遇(優位)	14.6%														
平等になっている	16.2%														
わからない	4.3%														
Q1-2 地域活動で (リーダー的立場の比率、役割分担など)	<div data-bbox="427 595 568 640" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">地域活動</div> <table border="1" data-bbox="555 622 1469 916"> <thead> <tr> <th>優遇/優位の状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性が非常に優遇(優位)</td> <td>22.8%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば男性が優遇(優位)</td> <td>50.6%</td> </tr> <tr> <td>女性が非常に優遇(優位)</td> <td>1.4%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば女性が優遇(優位)</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td>平等になっている</td> <td>12.4%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>7.4%</td> </tr> </tbody> </table>	優遇/優位の状況	割合	男性が非常に優遇(優位)	22.8%	どちらかといえば男性が優遇(優位)	50.6%	女性が非常に優遇(優位)	1.4%	どちらかといえば女性が優遇(優位)	5.4%	平等になっている	12.4%	わからない	7.4%
優遇/優位の状況	割合														
男性が非常に優遇(優位)	22.8%														
どちらかといえば男性が優遇(優位)	50.6%														
女性が非常に優遇(優位)	1.4%														
どちらかといえば女性が優遇(優位)	5.4%														
平等になっている	12.4%														
わからない	7.4%														
Q1-3 学校教育の場で (進学、専攻など)	<div data-bbox="427 976 568 1021" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">学校教育</div> <table border="1" data-bbox="555 1003 1469 1296"> <thead> <tr> <th>優遇/優位の状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性が非常に優遇(優位)</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば男性が優遇(優位)</td> <td>33.6%</td> </tr> <tr> <td>女性が非常に優遇(優位)</td> <td>1.4%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば女性が優遇(優位)</td> <td>4.7%</td> </tr> <tr> <td>平等になっている</td> <td>38.6%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>16.4%</td> </tr> </tbody> </table>	優遇/優位の状況	割合	男性が非常に優遇(優位)	5.4%	どちらかといえば男性が優遇(優位)	33.6%	女性が非常に優遇(優位)	1.4%	どちらかといえば女性が優遇(優位)	4.7%	平等になっている	38.6%	わからない	16.4%
優遇/優位の状況	割合														
男性が非常に優遇(優位)	5.4%														
どちらかといえば男性が優遇(優位)	33.6%														
女性が非常に優遇(優位)	1.4%														
どちらかといえば女性が優遇(優位)	4.7%														
平等になっている	38.6%														
わからない	16.4%														
Q1-4 職場で (採用、業務内容、昇進、昇級、職場環境など)	<div data-bbox="427 1357 568 1402" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">職場</div> <table border="1" data-bbox="555 1384 1469 1677"> <thead> <tr> <th>優遇/優位の状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性が非常に優遇(優位)</td> <td>24.9%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば男性が優遇(優位)</td> <td>50.9%</td> </tr> <tr> <td>女性が非常に優遇(優位)</td> <td>0.7%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば女性が優遇(優位)</td> <td>3.1%</td> </tr> <tr> <td>平等になっている</td> <td>12.3%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>8.0%</td> </tr> </tbody> </table>	優遇/優位の状況	割合	男性が非常に優遇(優位)	24.9%	どちらかといえば男性が優遇(優位)	50.9%	女性が非常に優遇(優位)	0.7%	どちらかといえば女性が優遇(優位)	3.1%	平等になっている	12.3%	わからない	8.0%
優遇/優位の状況	割合														
男性が非常に優遇(優位)	24.9%														
どちらかといえば男性が優遇(優位)	50.9%														
女性が非常に優遇(優位)	0.7%														
どちらかといえば女性が優遇(優位)	3.1%														
平等になっている	12.3%														
わからない	8.0%														
Q1-5 法律や制度の上で	<div data-bbox="427 1715 568 1760" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">法律・制度</div> <table border="1" data-bbox="555 1742 1469 2036"> <thead> <tr> <th>優遇/優位の状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性が非常に優遇(優位)</td> <td>13.2%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば男性が優遇(優位)</td> <td>38.7%</td> </tr> <tr> <td>女性が非常に優遇(優位)</td> <td>1.2%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば女性が優遇(優位)</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td>平等になっている</td> <td>28.4%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>13.1%</td> </tr> </tbody> </table>	優遇/優位の状況	割合	男性が非常に優遇(優位)	13.2%	どちらかといえば男性が優遇(優位)	38.7%	女性が非常に優遇(優位)	1.2%	どちらかといえば女性が優遇(優位)	5.4%	平等になっている	28.4%	わからない	13.1%
優遇/優位の状況	割合														
男性が非常に優遇(優位)	13.2%														
どちらかといえば男性が優遇(優位)	38.7%														
女性が非常に優遇(優位)	1.2%														
どちらかといえば女性が優遇(優位)	5.4%														
平等になっている	28.4%														
わからない	13.1%														

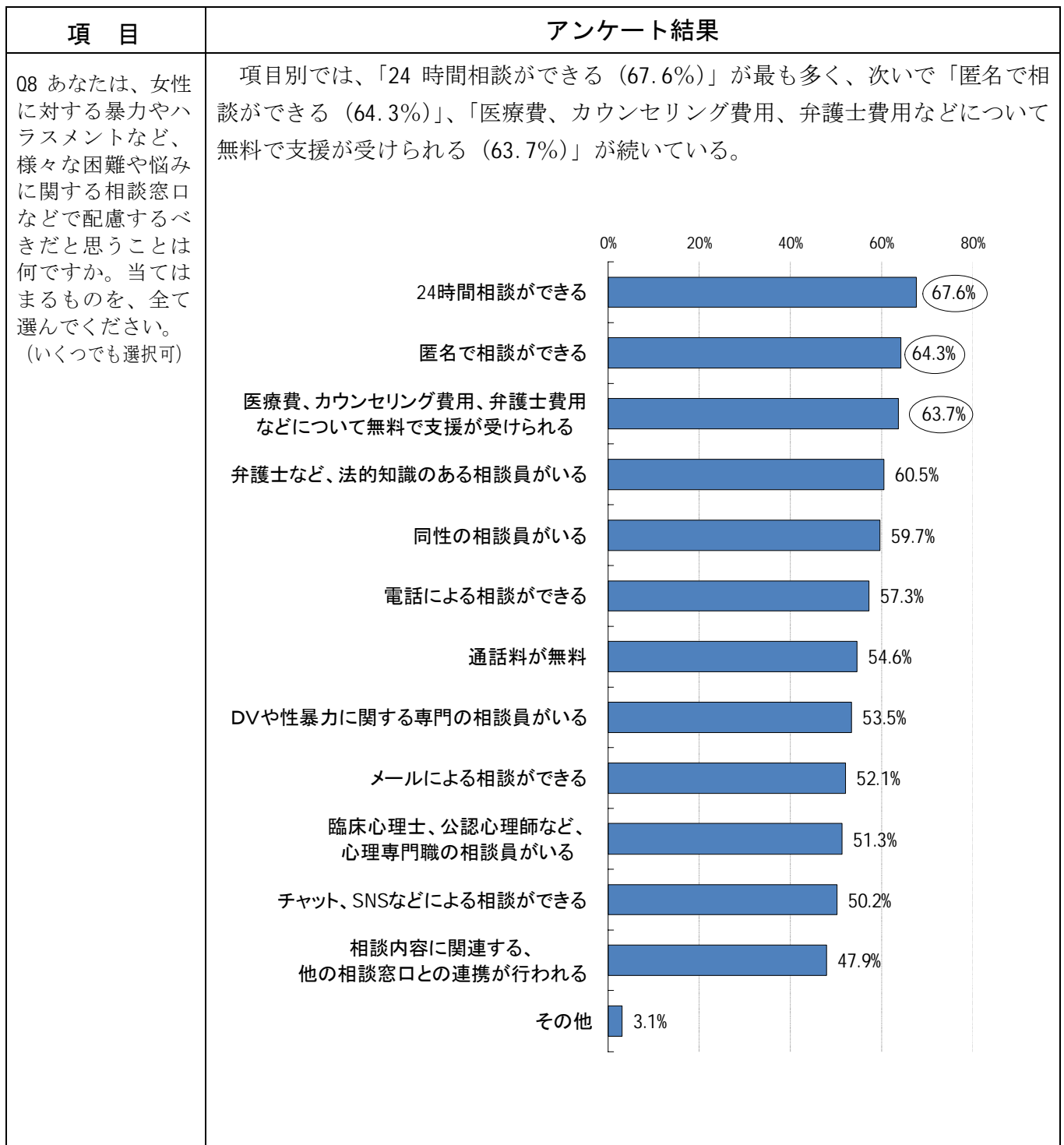
項目	アンケート結果												
Q1-6 政治（政策決定）の場で	<div data-bbox="427 188 576 237" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">政治</div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>男性が非常に優遇(優位)</td><td>41.2%</td></tr> <tr><td>どちらかといえば男性が優遇(優位)</td><td>39.6%</td></tr> <tr><td>女性が非常に優遇(優位)</td><td>0.4%</td></tr> <tr><td>どちらかといえば女性が優遇(優位)</td><td>1.6%</td></tr> <tr><td>平等になっている</td><td>10.5%</td></tr> <tr><td>わからない</td><td>6.6%</td></tr> </table>	男性が非常に優遇(優位)	41.2%	どちらかといえば男性が優遇(優位)	39.6%	女性が非常に優遇(優位)	0.4%	どちらかといえば女性が優遇(優位)	1.6%	平等になっている	10.5%	わからない	6.6%
男性が非常に優遇(優位)	41.2%												
どちらかといえば男性が優遇(優位)	39.6%												
女性が非常に優遇(優位)	0.4%												
どちらかといえば女性が優遇(優位)	1.6%												
平等になっている	10.5%												
わからない	6.6%												
Q1-7 社会通念・慣習・しきたりなどで	<div data-bbox="427 584 675 674" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">社会通念・慣習・しきたり等</div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>男性が非常に優遇(優位)</td><td>32.8%</td></tr> <tr><td>どちらかといえば男性が優遇(優位)</td><td>52.5%</td></tr> <tr><td>女性が非常に優遇(優位)</td><td>0.6%</td></tr> <tr><td>どちらかといえば女性が優遇(優位)</td><td>2.6%</td></tr> <tr><td>平等になっている</td><td>7.3%</td></tr> <tr><td>わからない</td><td>4.2%</td></tr> </table>	男性が非常に優遇(優位)	32.8%	どちらかといえば男性が優遇(優位)	52.5%	女性が非常に優遇(優位)	0.6%	どちらかといえば女性が優遇(優位)	2.6%	平等になっている	7.3%	わからない	4.2%
男性が非常に優遇(優位)	32.8%												
どちらかといえば男性が優遇(優位)	52.5%												
女性が非常に優遇(優位)	0.6%												
どちらかといえば女性が優遇(優位)	2.6%												
平等になっている	7.3%												
わからない	4.2%												
Q1-8 社会全体で	<div data-bbox="427 1034 576 1084" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">社会全体</div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>男性が非常に優遇(優位)</td><td>17.7%</td></tr> <tr><td>どちらかといえば男性が優遇(優位)</td><td>63.4%</td></tr> <tr><td>女性が非常に優遇(優位)</td><td>0.9%</td></tr> <tr><td>どちらかといえば女性が優遇(優位)</td><td>3.1%</td></tr> <tr><td>平等になっている</td><td>8.4%</td></tr> <tr><td>わからない</td><td>6.6%</td></tr> </table>	男性が非常に優遇(優位)	17.7%	どちらかといえば男性が優遇(優位)	63.4%	女性が非常に優遇(優位)	0.9%	どちらかといえば女性が優遇(優位)	3.1%	平等になっている	8.4%	わからない	6.6%
男性が非常に優遇(優位)	17.7%												
どちらかといえば男性が優遇(優位)	63.4%												
女性が非常に優遇(優位)	0.9%												
どちらかといえば女性が優遇(優位)	3.1%												
平等になっている	8.4%												
わからない	6.6%												
<p> 育児・介護などの家庭生活に関する意識について Q2 家庭での役割分担について、一般に、夫婦はどのように役割を分担するのがよいと思いますか。(1)～(4)のそれぞれについて当てはまるものを、一つ選んでください。(1つ選択) Q2-1 生活費の確保 </p>	<p> 『生活費の確保』については、「夫婦同程度（45.1%）」が最も多くなっており、「主に夫」を若干上回っている。 『育児』『介護』『育児・介護以外の家事』については、「外部サービスを利用しながら、夫と妻で半分ずつ分担」が最も多くなっている。（育児 53.6%、介護 75.2%、育児・介護以外の家事 44.7%） </p> <div data-bbox="427 1686 639 1736" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">生活費の確保</div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>主に夫</td><td>44.3%</td></tr> <tr><td>夫婦同程度</td><td>45.1%</td></tr> <tr><td>主に妻</td><td>2.9%</td></tr> <tr><td>わからない</td><td>7.7%</td></tr> </table>	主に夫	44.3%	夫婦同程度	45.1%	主に妻	2.9%	わからない	7.7%				
主に夫	44.3%												
夫婦同程度	45.1%												
主に妻	2.9%												
わからない	7.7%												

項 目	アンケート結果																					
Q2-2 育児	<div data-bbox="419 192 576 248" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">育 児</div> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>外部サービス利用状況</th> <th>分担状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外部サービスを利用せず</td> <td>夫と妻で半分ずつ分担</td> <td>12.1%</td> </tr> <tr> <td>外部サービスを利用せず</td> <td>主に夫が分担</td> <td>0.6%</td> </tr> <tr> <td>外部サービスを利用せず</td> <td>主に妻が分担</td> <td>20.6%</td> </tr> <tr> <td>外部サービスを利用しながら</td> <td>夫と妻で半分ずつ分担</td> <td>53.6%</td> </tr> <tr> <td>外部サービスを利用しながら</td> <td>それ以外は主に夫が分担</td> <td>0.8%</td> </tr> <tr> <td>外部サービスを利用しながら</td> <td>それ以外は主に妻が分担</td> <td>12.2%</td> </tr> </tbody> </table>	外部サービス利用状況	分担状況	割合	外部サービスを利用せず	夫と妻で半分ずつ分担	12.1%	外部サービスを利用せず	主に夫が分担	0.6%	外部サービスを利用せず	主に妻が分担	20.6%	外部サービスを利用しながら	夫と妻で半分ずつ分担	53.6%	外部サービスを利用しながら	それ以外は主に夫が分担	0.8%	外部サービスを利用しながら	それ以外は主に妻が分担	12.2%
外部サービス利用状況	分担状況	割合																				
外部サービスを利用せず	夫と妻で半分ずつ分担	12.1%																				
外部サービスを利用せず	主に夫が分担	0.6%																				
外部サービスを利用せず	主に妻が分担	20.6%																				
外部サービスを利用しながら	夫と妻で半分ずつ分担	53.6%																				
外部サービスを利用しながら	それ以外は主に夫が分担	0.8%																				
外部サービスを利用しながら	それ以外は主に妻が分担	12.2%																				
Q2-3 介護	<div data-bbox="419 745 576 801" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">介 護</div> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>外部サービス利用状況</th> <th>分担状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外部サービスを利用せず</td> <td>夫と妻で半分ずつ分担</td> <td>5.9%</td> </tr> <tr> <td>外部サービスを利用せず</td> <td>主に夫が分担</td> <td>0.9%</td> </tr> <tr> <td>外部サービスを利用せず</td> <td>主に妻が分担</td> <td>6.8%</td> </tr> <tr> <td>外部サービスを利用しながら</td> <td>夫と妻で半分ずつ分担</td> <td>75.2%</td> </tr> <tr> <td>外部サービスを利用しながら</td> <td>それ以外は主に夫が分担</td> <td>1.5%</td> </tr> <tr> <td>外部サービスを利用しながら</td> <td>それ以外は主に妻が分担</td> <td>9.7%</td> </tr> </tbody> </table>	外部サービス利用状況	分担状況	割合	外部サービスを利用せず	夫と妻で半分ずつ分担	5.9%	外部サービスを利用せず	主に夫が分担	0.9%	外部サービスを利用せず	主に妻が分担	6.8%	外部サービスを利用しながら	夫と妻で半分ずつ分担	75.2%	外部サービスを利用しながら	それ以外は主に夫が分担	1.5%	外部サービスを利用しながら	それ以外は主に妻が分担	9.7%
外部サービス利用状況	分担状況	割合																				
外部サービスを利用せず	夫と妻で半分ずつ分担	5.9%																				
外部サービスを利用せず	主に夫が分担	0.9%																				
外部サービスを利用せず	主に妻が分担	6.8%																				
外部サービスを利用しながら	夫と妻で半分ずつ分担	75.2%																				
外部サービスを利用しながら	それ以外は主に夫が分担	1.5%																				
外部サービスを利用しながら	それ以外は主に妻が分担	9.7%																				
Q2-4 育児・介護以外の家事	<div data-bbox="419 1261 611 1350" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">育児・介護 以外の家事</div> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>外部サービス利用状況</th> <th>分担状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外部サービスを利用せず</td> <td>夫と妻で半分ずつ分担</td> <td>29.8%</td> </tr> <tr> <td>外部サービスを利用せず</td> <td>主に夫が分担</td> <td>0.8%</td> </tr> <tr> <td>外部サービスを利用せず</td> <td>主に妻が分担</td> <td>18.3%</td> </tr> <tr> <td>外部サービスを利用しながら</td> <td>夫と妻で半分ずつ分担</td> <td>44.7%</td> </tr> <tr> <td>外部サービスを利用しながら</td> <td>それ以外は主に夫が分担</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>外部サービスを利用しながら</td> <td>それ以外は主に妻が分担</td> <td>5.4%</td> </tr> </tbody> </table>	外部サービス利用状況	分担状況	割合	外部サービスを利用せず	夫と妻で半分ずつ分担	29.8%	外部サービスを利用せず	主に夫が分担	0.8%	外部サービスを利用せず	主に妻が分担	18.3%	外部サービスを利用しながら	夫と妻で半分ずつ分担	44.7%	外部サービスを利用しながら	それ以外は主に夫が分担	1.0%	外部サービスを利用しながら	それ以外は主に妻が分担	5.4%
外部サービス利用状況	分担状況	割合																				
外部サービスを利用せず	夫と妻で半分ずつ分担	29.8%																				
外部サービスを利用せず	主に夫が分担	0.8%																				
外部サービスを利用せず	主に妻が分担	18.3%																				
外部サービスを利用しながら	夫と妻で半分ずつ分担	44.7%																				
外部サービスを利用しながら	それ以外は主に夫が分担	1.0%																				
外部サービスを利用しながら	それ以外は主に妻が分担	5.4%																				

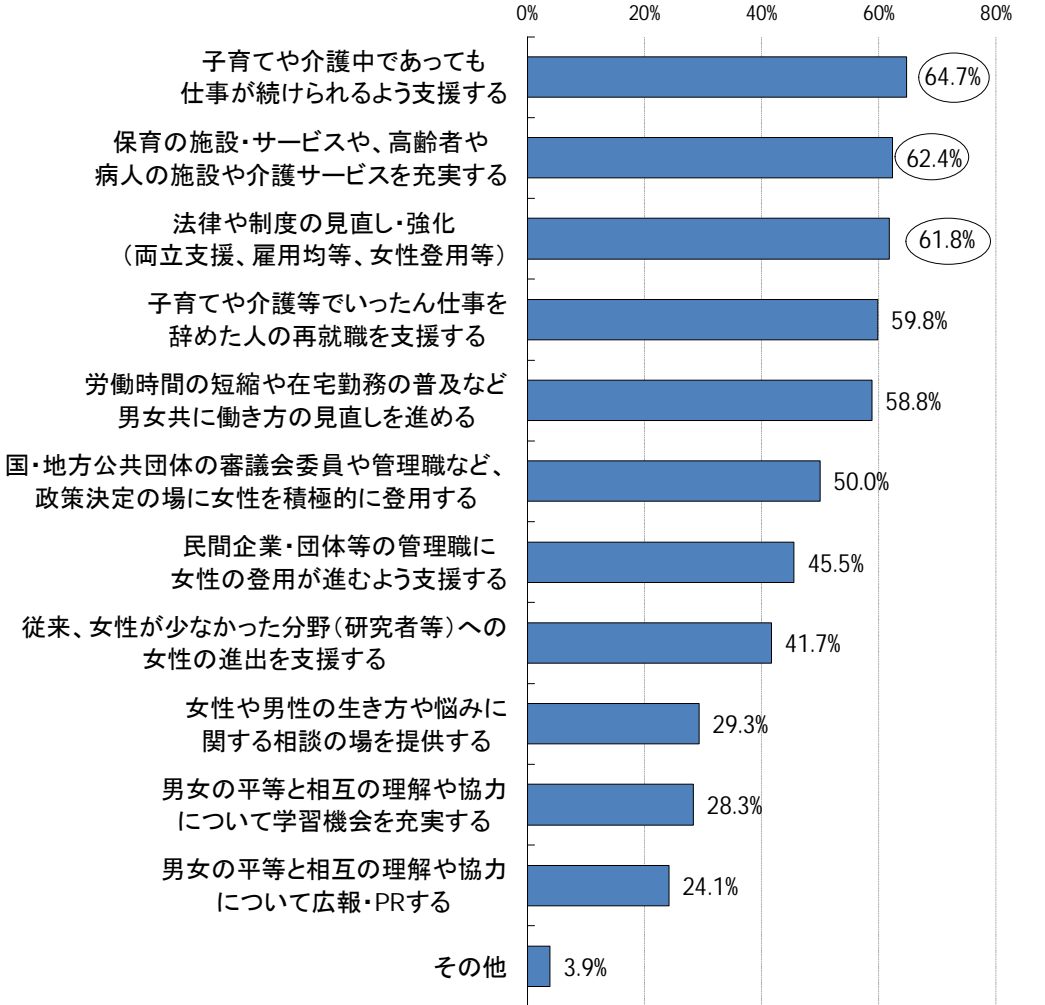
項目	アンケート結果																						
<p>Q3 共働きの夫婦が育児休業や介護休業を取るとしたら、どうするのがよいと思いますか。次の中から一つお選びください。(1つ選択)</p> <p>Q3-1 育児休業</p>	<p>『育児休業』『介護休業』ともに「夫と妻が交替でとる」が最も多く、大半を占めている。(育児休業 74.5%、介護休業 84.2%)</p> <p>育児休業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夫がとるのがよい</td> <td>1.4%</td> </tr> <tr> <td>妻がとるのがよい</td> <td>18.8%</td> </tr> <tr> <td>夫と妻が交替でとる</td> <td>74.5%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5.3%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	割合	夫がとるのがよい	1.4%	妻がとるのがよい	18.8%	夫と妻が交替でとる	74.5%	その他	5.3%												
項目	割合																						
夫がとるのがよい	1.4%																						
妻がとるのがよい	18.8%																						
夫と妻が交替でとる	74.5%																						
その他	5.3%																						
<p>Q3-2 介護休業</p>	<p>介護休業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夫がとるのがよい</td> <td>2.3%</td> </tr> <tr> <td>妻がとるのがよい</td> <td>6.2%</td> </tr> <tr> <td>夫と妻が交替でとる</td> <td>84.2%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7.2%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	割合	夫がとるのがよい	2.3%	妻がとるのがよい	6.2%	夫と妻が交替でとる	84.2%	その他	7.2%												
項目	割合																						
夫がとるのがよい	2.3%																						
妻がとるのがよい	6.2%																						
夫と妻が交替でとる	84.2%																						
その他	7.2%																						
<p>Q4 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。当てはまるものを、全て選んでください。(いくつでも選択可)</p>	<p>「男性が参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす (67.1%)」が最も多く、次いで「当事者(夫婦間)の考えを尊重し、まわりの人が固定的な観念等を押しつけない (65.7%)」、「男性が参加することについて、職場の上司や同僚等の理解を進める (64.2%)」が続いている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性が参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす</td> <td>67.1%</td> </tr> <tr> <td>当事者(夫婦間)の考えを尊重し、まわりの人が固定的な観念等を押しつけない</td> <td>65.7%</td> </tr> <tr> <td>男性が参加することについて、職場の上司や同僚等の理解を進める</td> <td>64.2%</td> </tr> <tr> <td>夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる</td> <td>64.0%</td> </tr> <tr> <td>労働時間短縮や休暇制度を普及し、仕事以外の時間を多く持てるようにする</td> <td>52.5%</td> </tr> <tr> <td>男性が参加することに対する社会の評価を高める</td> <td>36.0%</td> </tr> <tr> <td>男性が参加することに対する女性の抵抗感をなくす</td> <td>33.3%</td> </tr> <tr> <td>男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間(ネットワーク)作りをすすめる</td> <td>31.1%</td> </tr> <tr> <td>男性の参加について、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能研修を行う</td> <td>27.1%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3.2%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	割合	男性が参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす	67.1%	当事者(夫婦間)の考えを尊重し、まわりの人が固定的な観念等を押しつけない	65.7%	男性が参加することについて、職場の上司や同僚等の理解を進める	64.2%	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる	64.0%	労働時間短縮や休暇制度を普及し、仕事以外の時間を多く持てるようにする	52.5%	男性が参加することに対する社会の評価を高める	36.0%	男性が参加することに対する女性の抵抗感をなくす	33.3%	男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間(ネットワーク)作りをすすめる	31.1%	男性の参加について、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能研修を行う	27.1%	その他	3.2%
項目	割合																						
男性が参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす	67.1%																						
当事者(夫婦間)の考えを尊重し、まわりの人が固定的な観念等を押しつけない	65.7%																						
男性が参加することについて、職場の上司や同僚等の理解を進める	64.2%																						
夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる	64.0%																						
労働時間短縮や休暇制度を普及し、仕事以外の時間を多く持てるようにする	52.5%																						
男性が参加することに対する社会の評価を高める	36.0%																						
男性が参加することに対する女性の抵抗感をなくす	33.3%																						
男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間(ネットワーク)作りをすすめる	31.1%																						
男性の参加について、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能研修を行う	27.1%																						
その他	3.2%																						

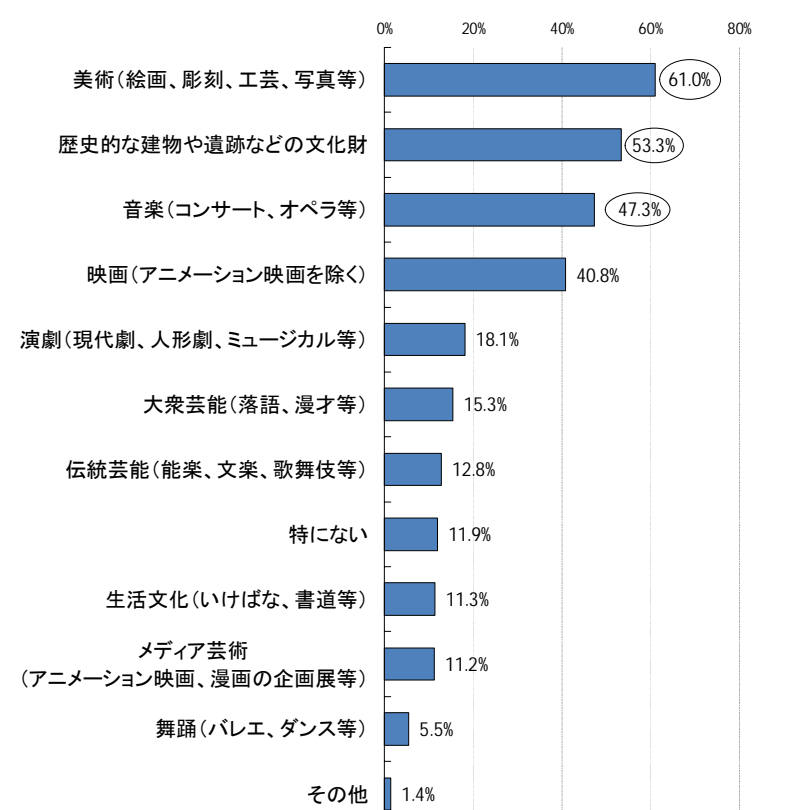
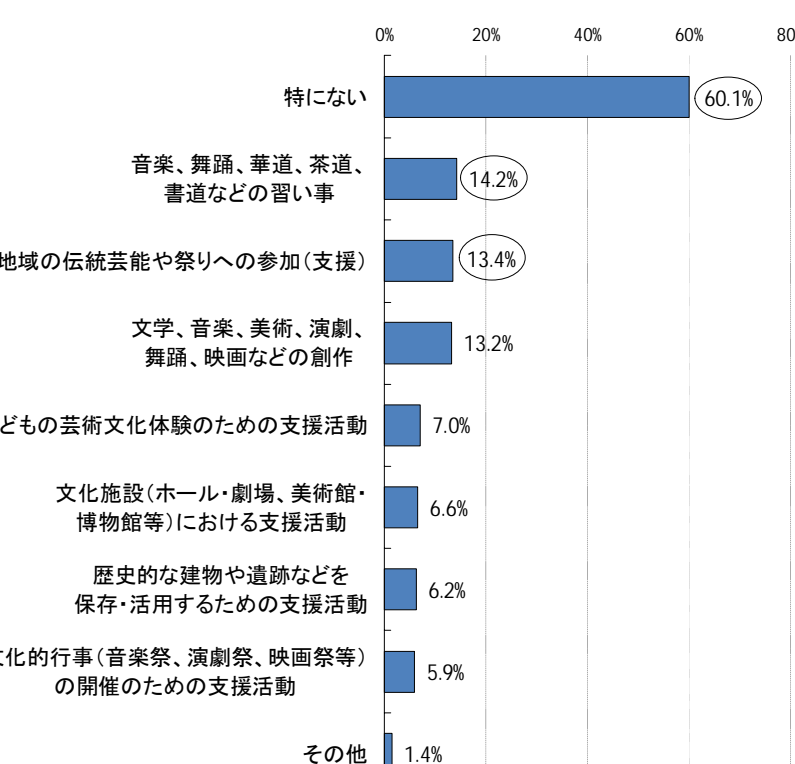
項目	アンケート結果																		
<p>職場等での女性の活躍について</p> <p>Q5 女性が活躍できる仕事・職場環境にするために、必要なものは何だと思いますか。当てはまるものを、全て選んでください。 (いくつでも選択可)</p>	<p>「育児・介護との両立に職場の支援制度が整っていること (76.6%)」が最も多く、次いで「上司・同僚が、女性が働くことに理解があること (69.5%)」、「仕事が適正に評価されること (63.7%)」が続いている。</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>育児・介護との両立に職場の支援制度が整っていること</td> <td>76.6%</td> </tr> <tr> <td>上司・同僚が、女性が働くことに理解があること</td> <td>69.5%</td> </tr> <tr> <td>仕事が適正に評価されること</td> <td>63.7%</td> </tr> <tr> <td>長時間労働の必要がないことや、勤務時間が柔軟であること</td> <td>60.5%</td> </tr> <tr> <td>職場のトップが女性の活躍の促進に積極的であること</td> <td>50.4%</td> </tr> <tr> <td>仕事の内容にやりがいがあること</td> <td>40.4%</td> </tr> <tr> <td>身近に活躍している女性(ロールモデル)がいること</td> <td>31.2%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4.1%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	割合	育児・介護との両立に職場の支援制度が整っていること	76.6%	上司・同僚が、女性が働くことに理解があること	69.5%	仕事が適正に評価されること	63.7%	長時間労働の必要がないことや、勤務時間が柔軟であること	60.5%	職場のトップが女性の活躍の促進に積極的であること	50.4%	仕事の内容にやりがいがあること	40.4%	身近に活躍している女性(ロールモデル)がいること	31.2%	その他	4.1%
項目	割合																		
育児・介護との両立に職場の支援制度が整っていること	76.6%																		
上司・同僚が、女性が働くことに理解があること	69.5%																		
仕事が適正に評価されること	63.7%																		
長時間労働の必要がないことや、勤務時間が柔軟であること	60.5%																		
職場のトップが女性の活躍の促進に積極的であること	50.4%																		
仕事の内容にやりがいがあること	40.4%																		
身近に活躍している女性(ロールモデル)がいること	31.2%																		
その他	4.1%																		
<p>Q6 女性の活躍が進むためには、家族や社会等からどのような支援が必要だと思いますか。当てはまるものを、全て選んでください。 (いくつでも選択可)</p>	<p>「男性の積極的な家事・育児・介護参加 (70.3%)」が最も多く、次いで「保育の施設・サービスの充実 (69.1%)」、「高齢者や病人の施設や介護サービスの充実 (66.9%)」が続いている。</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性の積極的な家事・育児・介護参加</td> <td>70.3%</td> </tr> <tr> <td>保育の施設・サービスの充実</td> <td>69.1%</td> </tr> <tr> <td>高齢者や病人の施設や、介護サービスの充実</td> <td>66.9%</td> </tr> <tr> <td>利用しやすい(育児・介護以外の)家事サービスがあること</td> <td>62.7%</td> </tr> <tr> <td>夫以外の家族・地域による家事・育児・介護支援</td> <td>45.1%</td> </tr> <tr> <td>スキルアップに向けた研修や就職相談等の再就職しやすい環境が整っていること</td> <td>34.7%</td> </tr> <tr> <td>起業を希望する際に資金調達やノウハウの取得が容易なこと</td> <td>18.3%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4.1%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	割合	男性の積極的な家事・育児・介護参加	70.3%	保育の施設・サービスの充実	69.1%	高齢者や病人の施設や、介護サービスの充実	66.9%	利用しやすい(育児・介護以外の)家事サービスがあること	62.7%	夫以外の家族・地域による家事・育児・介護支援	45.1%	スキルアップに向けた研修や就職相談等の再就職しやすい環境が整っていること	34.7%	起業を希望する際に資金調達やノウハウの取得が容易なこと	18.3%	その他	4.1%
項目	割合																		
男性の積極的な家事・育児・介護参加	70.3%																		
保育の施設・サービスの充実	69.1%																		
高齢者や病人の施設や、介護サービスの充実	66.9%																		
利用しやすい(育児・介護以外の)家事サービスがあること	62.7%																		
夫以外の家族・地域による家事・育児・介護支援	45.1%																		
スキルアップに向けた研修や就職相談等の再就職しやすい環境が整っていること	34.7%																		
起業を希望する際に資金調達やノウハウの取得が容易なこと	18.3%																		
その他	4.1%																		

項目	アンケート結果																										
女性に対する暴力等に関する意識について	<p>「配偶者や元配偶者などからの暴力、いわゆるDV（80.3%）」が最も多く、次いで「強制性交等や強制わいせつ、痴漢、盗撮などの、性犯罪や性暴力（76.5%）」、「つきまといや待ち伏せなどのストーカー行為（73.9%）」が続いている。</p>																										
<p>Q7 女性に対する暴力の根絶を図るため、あなたが対策が必要だと考えるものはどれですか。当てはまるものを、全て選んでください。（いくつでも選択可）</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>暴力の種類</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配偶者や元配偶者などからの暴力、いわゆるDV</td> <td>80.3%</td> </tr> <tr> <td>強制性交等や強制わいせつ、痴漢、盗撮などの、性犯罪や性暴力</td> <td>76.5%</td> </tr> <tr> <td>つきまといや待ち伏せなどのストーカー行為</td> <td>73.9%</td> </tr> <tr> <td>児童買春や性的虐待、児童ポルノなど、こどもに対する性犯罪や性暴力</td> <td>67.6%</td> </tr> <tr> <td>交際相手からの暴力、いわゆるデートDV</td> <td>65.8%</td> </tr> <tr> <td>セクシュアルハラスメント、いわゆるセクハラ</td> <td>61.6%</td> </tr> <tr> <td>暴力や脅迫などの手段で売春や労働を強要される、人身取引</td> <td>56.1%</td> </tr> <tr> <td>インターネットやSNSを介した出会いをきっかけとした性被害</td> <td>54.0%</td> </tr> <tr> <td>アダルトビデオ出演被害やリベンジポルノなど、本人の意に反した性的な映像の流布</td> <td>52.4%</td> </tr> <tr> <td>売春や買春</td> <td>51.2%</td> </tr> <tr> <td>テレビや雑誌、ゲーム、ビデオ、インターネットなどの性表現や暴力表現</td> <td>44.2%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4.5%</td> </tr> </tbody> </table>	暴力の種類	割合	配偶者や元配偶者などからの暴力、いわゆるDV	80.3%	強制性交等や強制わいせつ、痴漢、盗撮などの、性犯罪や性暴力	76.5%	つきまといや待ち伏せなどのストーカー行為	73.9%	児童買春や性的虐待、児童ポルノなど、こどもに対する性犯罪や性暴力	67.6%	交際相手からの暴力、いわゆるデートDV	65.8%	セクシュアルハラスメント、いわゆるセクハラ	61.6%	暴力や脅迫などの手段で売春や労働を強要される、人身取引	56.1%	インターネットやSNSを介した出会いをきっかけとした性被害	54.0%	アダルトビデオ出演被害やリベンジポルノなど、本人の意に反した性的な映像の流布	52.4%	売春や買春	51.2%	テレビや雑誌、ゲーム、ビデオ、インターネットなどの性表現や暴力表現	44.2%	その他	4.5%
暴力の種類	割合																										
配偶者や元配偶者などからの暴力、いわゆるDV	80.3%																										
強制性交等や強制わいせつ、痴漢、盗撮などの、性犯罪や性暴力	76.5%																										
つきまといや待ち伏せなどのストーカー行為	73.9%																										
児童買春や性的虐待、児童ポルノなど、こどもに対する性犯罪や性暴力	67.6%																										
交際相手からの暴力、いわゆるデートDV	65.8%																										
セクシュアルハラスメント、いわゆるセクハラ	61.6%																										
暴力や脅迫などの手段で売春や労働を強要される、人身取引	56.1%																										
インターネットやSNSを介した出会いをきっかけとした性被害	54.0%																										
アダルトビデオ出演被害やリベンジポルノなど、本人の意に反した性的な映像の流布	52.4%																										
売春や買春	51.2%																										
テレビや雑誌、ゲーム、ビデオ、インターネットなどの性表現や暴力表現	44.2%																										
その他	4.5%																										



項目		アンケート結果																
		<p>年代別では「電話による相談ができる」は、年代が上がるにつれて多くなっている一方、「チャット、SNS などによる相談ができる」は、年代が若くなるほど多くなる傾向にある。</p> <p>年代間での差が最も多かったのは「チャット、SNS などによる相談ができる」で、最も少ない 70 代が 36.6%であるのに対し、最も多い 10・20 代は 72.2%とその差は 35.6%であった。</p>																
		<p style="text-align: right;">最大値 最小値 (%)</p>																
		メールによる相談ができる	チャット、SNS などによる相談ができる	電話による相談ができる	通話料が無料	24時間相談ができる	費用無料で弁護士費用などを受けられる	医療費、カウンセリング費	の相談窓口との連携が行われる	相談内容に関連する他の	同様の相談員がいる	匿名で相談ができる	ある相談員が、法的知識の	弁護士など、専門職の	臨床心理士、公認心理師	門の相談員が、暴力に関する専	DVや性暴力に関する専	その他
	全体	52.1	50.2	57.3	54.6	67.6	63.7	47.9	59.7	64.3	60.5	51.3	53.5	3.1				
年代別	10・20代	52.8	72.2	47.2	52.8	66.7	61.1	47.2	63.9	75.0	55.6	55.6	58.3	2.8				
	30代	57.8	69.6	52.9	57.8	67.6	58.8	42.2	62.7	67.6	62.7	50.0	52.0	3.9				
	40代	46.3	62.1	45.8	52.9	62.5	62.1	44.6	56.7	65.0	56.3	52.1	56.7	7.1				
	50代	55.7	56.2	53.2	58.0	67.9	64.4	49.1	64.1	68.2	60.6	51.7	58.0	2.8				
	60代	51.2	44.5	61.0	56.5	67.9	64.8	45.7	59.8	63.9	59.3	48.8	53.6	1.7				
	70代	50.5	36.6	64.0	50.2	70.6	63.4	52.3	56.8	57.7	63.4	53.2	47.1	2.4				
	80代～	55.6	37.0	74.1	49.4	66.7	67.9	53.1	53.1	63.0	66.7	53.1	46.9	1.2				
	年代間の差	11.5	35.6	28.3	8.6	8.1	9.1	10.9	11.0	17.3	11.1	6.8	11.4	5.9				

項目	アンケート結果																										
<p>男女共同参画社会に関する行政への要望について</p>	<p>「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する（64.7%）」が最も多く、次いで「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する（62.4%）」、「法律や制度の見直し・強化（両立支援、雇用均等、女性登用等）（61.8%）」が続いている。</p>																										
<p>Q9 「男女共同参画社会」を実現するために、行政が力を入れていくべきことは何だと思えますか。当てはまるものを、全て選んでください。 (いくつでも選択可)</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する</td> <td>64.7%</td> </tr> <tr> <td>保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する</td> <td>62.4%</td> </tr> <tr> <td>法律や制度の見直し・強化（両立支援、雇用均等、女性登用等）</td> <td>61.8%</td> </tr> <tr> <td>子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する</td> <td>59.8%</td> </tr> <tr> <td>労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める</td> <td>58.8%</td> </tr> <tr> <td>国・地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>民間企業・団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する</td> <td>45.5%</td> </tr> <tr> <td>従来、女性が少なかった分野（研究者等）への女性の進出を支援する</td> <td>41.7%</td> </tr> <tr> <td>女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する</td> <td>29.3%</td> </tr> <tr> <td>男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する</td> <td>28.3%</td> </tr> <tr> <td>男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRする</td> <td>24.1%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3.9%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	割合	子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する	64.7%	保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する	62.4%	法律や制度の見直し・強化（両立支援、雇用均等、女性登用等）	61.8%	子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する	59.8%	労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める	58.8%	国・地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する	50.0%	民間企業・団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する	45.5%	従来、女性が少なかった分野（研究者等）への女性の進出を支援する	41.7%	女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する	29.3%	男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する	28.3%	男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRする	24.1%	その他	3.9%
項目	割合																										
子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する	64.7%																										
保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する	62.4%																										
法律や制度の見直し・強化（両立支援、雇用均等、女性登用等）	61.8%																										
子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する	59.8%																										
労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める	58.8%																										
国・地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する	50.0%																										
民間企業・団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する	45.5%																										
従来、女性が少なかった分野（研究者等）への女性の進出を支援する	41.7%																										
女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する	29.3%																										
男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する	28.3%																										
男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRする	24.1%																										
その他	3.9%																										

項目	アンケート結果																										
<p>芸術文化について</p> <p>Q10 この1年間に、ホール・劇場、映画館、美術館などに出向いて鑑賞した芸術文化は何ですか。当てはまるものを、全て選んでください。 (いくつでも選択可)</p>	<p>「美術（絵画、彫刻、工芸、写真等）（61.0%）」が最も多く、次いで「歴史的な建物や遺跡などの文化財（53.3%）」、「音楽（コンサート、オペラ等）（47.3%）」が続いている。</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美術（絵画、彫刻、工芸、写真等）</td> <td>61.0%</td> </tr> <tr> <td>歴史的な建物や遺跡などの文化財</td> <td>53.3%</td> </tr> <tr> <td>音楽（コンサート、オペラ等）</td> <td>47.3%</td> </tr> <tr> <td>映画（アニメーション映画を除く）</td> <td>40.8%</td> </tr> <tr> <td>演劇（現代劇、人形劇、ミュージカル等）</td> <td>18.1%</td> </tr> <tr> <td>大衆芸能（落語、漫才等）</td> <td>15.3%</td> </tr> <tr> <td>伝統芸能（能楽、文楽、歌舞伎等）</td> <td>12.8%</td> </tr> <tr> <td>特にない</td> <td>11.9%</td> </tr> <tr> <td>生活文化（いけばな、書道等）</td> <td>11.3%</td> </tr> <tr> <td>メディア芸術（アニメーション映画、漫画の企画展等）</td> <td>11.2%</td> </tr> <tr> <td>舞踊（バレエ、ダンス等）</td> <td>5.5%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1.4%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	割合	美術（絵画、彫刻、工芸、写真等）	61.0%	歴史的な建物や遺跡などの文化財	53.3%	音楽（コンサート、オペラ等）	47.3%	映画（アニメーション映画を除く）	40.8%	演劇（現代劇、人形劇、ミュージカル等）	18.1%	大衆芸能（落語、漫才等）	15.3%	伝統芸能（能楽、文楽、歌舞伎等）	12.8%	特にない	11.9%	生活文化（いけばな、書道等）	11.3%	メディア芸術（アニメーション映画、漫画の企画展等）	11.2%	舞踊（バレエ、ダンス等）	5.5%	その他	1.4%
項目	割合																										
美術（絵画、彫刻、工芸、写真等）	61.0%																										
歴史的な建物や遺跡などの文化財	53.3%																										
音楽（コンサート、オペラ等）	47.3%																										
映画（アニメーション映画を除く）	40.8%																										
演劇（現代劇、人形劇、ミュージカル等）	18.1%																										
大衆芸能（落語、漫才等）	15.3%																										
伝統芸能（能楽、文楽、歌舞伎等）	12.8%																										
特にない	11.9%																										
生活文化（いけばな、書道等）	11.3%																										
メディア芸術（アニメーション映画、漫画の企画展等）	11.2%																										
舞踊（バレエ、ダンス等）	5.5%																										
その他	1.4%																										
<p>Q11 この1年間に、自分で創作したり、芸術文化体験を支援する文化ボランティア活動に参加したりするなど、芸術文化に関わる活動をしたことはありますか。当てはまるものを、全て選んでください。 (いくつでも選択可)</p>	<p>項目別では、「特にない（60.1%）」が最も多く、次いで「音楽、舞踊、華道、茶道、書道などの習い事（14.2%）」、「地域の伝統芸能や祭りへの参加（支援）（13.4%）」が続いている。</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特にない</td> <td>60.1%</td> </tr> <tr> <td>音楽、舞踊、華道、茶道、書道などの習い事</td> <td>14.2%</td> </tr> <tr> <td>地域の伝統芸能や祭りへの参加（支援）</td> <td>13.4%</td> </tr> <tr> <td>文学、音楽、美術、演劇、舞踊、映画などの創作</td> <td>13.2%</td> </tr> <tr> <td>子どもの芸術文化体験のための支援活動</td> <td>7.0%</td> </tr> <tr> <td>文化施設（ホール・劇場、美術館・博物館等）における支援活動</td> <td>6.6%</td> </tr> <tr> <td>歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動</td> <td>6.2%</td> </tr> <tr> <td>文化的行事（音楽祭、演劇祭、映画祭等）の開催のための支援活動</td> <td>5.9%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1.4%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	割合	特にない	60.1%	音楽、舞踊、華道、茶道、書道などの習い事	14.2%	地域の伝統芸能や祭りへの参加（支援）	13.4%	文学、音楽、美術、演劇、舞踊、映画などの創作	13.2%	子どもの芸術文化体験のための支援活動	7.0%	文化施設（ホール・劇場、美術館・博物館等）における支援活動	6.6%	歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動	6.2%	文化的行事（音楽祭、演劇祭、映画祭等）の開催のための支援活動	5.9%	その他	1.4%						
項目	割合																										
特にない	60.1%																										
音楽、舞踊、華道、茶道、書道などの習い事	14.2%																										
地域の伝統芸能や祭りへの参加（支援）	13.4%																										
文学、音楽、美術、演劇、舞踊、映画などの創作	13.2%																										
子どもの芸術文化体験のための支援活動	7.0%																										
文化施設（ホール・劇場、美術館・博物館等）における支援活動	6.6%																										
歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動	6.2%																										
文化的行事（音楽祭、演劇祭、映画祭等）の開催のための支援活動	5.9%																										
その他	1.4%																										

項目	アンケート結果													
	<p>地域別では、神戸では「文学、音楽、美術、演劇、舞踊、映画などの創作」が、阪神南、阪神北では「音楽、舞踊、華道、茶道、書道などの習い事」が、東播磨、北播磨、中播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路では「地域の伝統芸能や祭りへの参加（支援）」が多くなっている。</p>													
	(%)													
項目	特 に な い	い 茶 事 道 ・ 書 道 ・ 舞 道 ・ 華 道 の 習 い	音 楽 ・ 舞 踊 な ど の 華 道 の 習 い	り 地 域 の 参 加 統 支 援 や 祭 り	ど 演 文 の 劇 学 創 作 舞 踊 ・ 映 画 術 な ど	験 子 の ど た も の 芸 術 支 援 文 化 活 動	活 館 動 等 場 に お け る 支 援 物 ・	文 化 施 設 の 保 存 ・ 利 用 の 支 援 物 ・	な ら ば 的 な 建 物 や 遺 跡 の 支 援 ・ 活 用 す	支 援 の 活 動 の 催 し の 支 援 ・ 活 動 の 支 援 ・ 活 動 の 支 援 ・	祭 典 の 催 し の 支 援 ・ 活 動 の 支 援 ・ 活 動 の 支 援 ・	文 化 的 行 事 の 支 援 ・ 活 動 の 支 援 ・ 活 動 の 支 援 ・	そ の 他	
全体	① 60.1	② 14.2	③ 13.4	④ 13.2	⑤ 7.0	⑥ 6.6	⑦ 6.2	⑧ 5.9	⑨ 1.4					
地 域	神戸	① 62.2	③ 13.1	④ 9.4	② 15.1	⑤ 4.9	⑧ 4.1	⑦ 4.3	⑥ 4.8	⑨ 1.1				
	阪神南	① 58.5	② 14.4	③ 12.2	④ 9.6	⑦ 6.1	⑤ 6.6	⑤ 6.6	⑧ 5.7	⑨ 1.7				
	阪神北	① 55.6	② 21.9	④ 13.5	③ 16.9	⑦ 7.9	⑥ 8.4	⑧ 7.3	⑤ 9.0	⑨ 1.1				
	東播磨	① 66.3	③ 11.1	② 14.1	④ 10.6	⑤ 7.0	⑥ 6.0	⑧ 5.0	⑦ 5.5	⑨ 1.0				
	北播磨	① 53.8	③ 17.9	② 24.4	④ 15.4	⑥ 10.3	⑧ 7.7	⑤ 11.5	⑦ 9.0	⑨ 2.6				
	中播磨	① 60.3	③ 12.1	② 13.5	③ 12.1	⑥ 7.8	⑦ 6.4	⑤ 9.2	⑧ 3.5	⑨ 1.4				
	西播磨	① 52.9	③ 12.9	② 24.3	③ 12.9	⑥ 11.4	③ 12.9	⑦ 7.1	⑧ 5.7	⑨ 2.9				
	但馬	① 48.4	⑤ 16.1	② 22.6	⑧ 6.5	⑤ 16.1	③ 19.4	⑦ 9.7	③ 19.4	⑨ 0.0				
	丹波	① 56.7	③ 13.3	② 30.0	④ 10.0	④ 10.0	⑥ 6.7	⑧ 3.3	⑧ 3.3	⑥ 6.7				
	淡路	① 57.1	⑤ 11.4	② 20.0	⑤ 11.4	④ 14.3	③ 17.1	⑤ 11.4	⑧ 8.6	⑨ 0.0				
	県外	① 100.0	② 0.0	② 0.0	② 0.0	② 0.0	② 0.0	② 0.0	② 0.0	② 0.0	② 0.0			

○数字はその地域別での順位

※ 報告書中の数字は、四捨五入による端数を調整していないため、内訳と計は必ずしも一致しない。

【 問い合わせ先 】 総務部広報広聴課 (TEL078-362-3022)